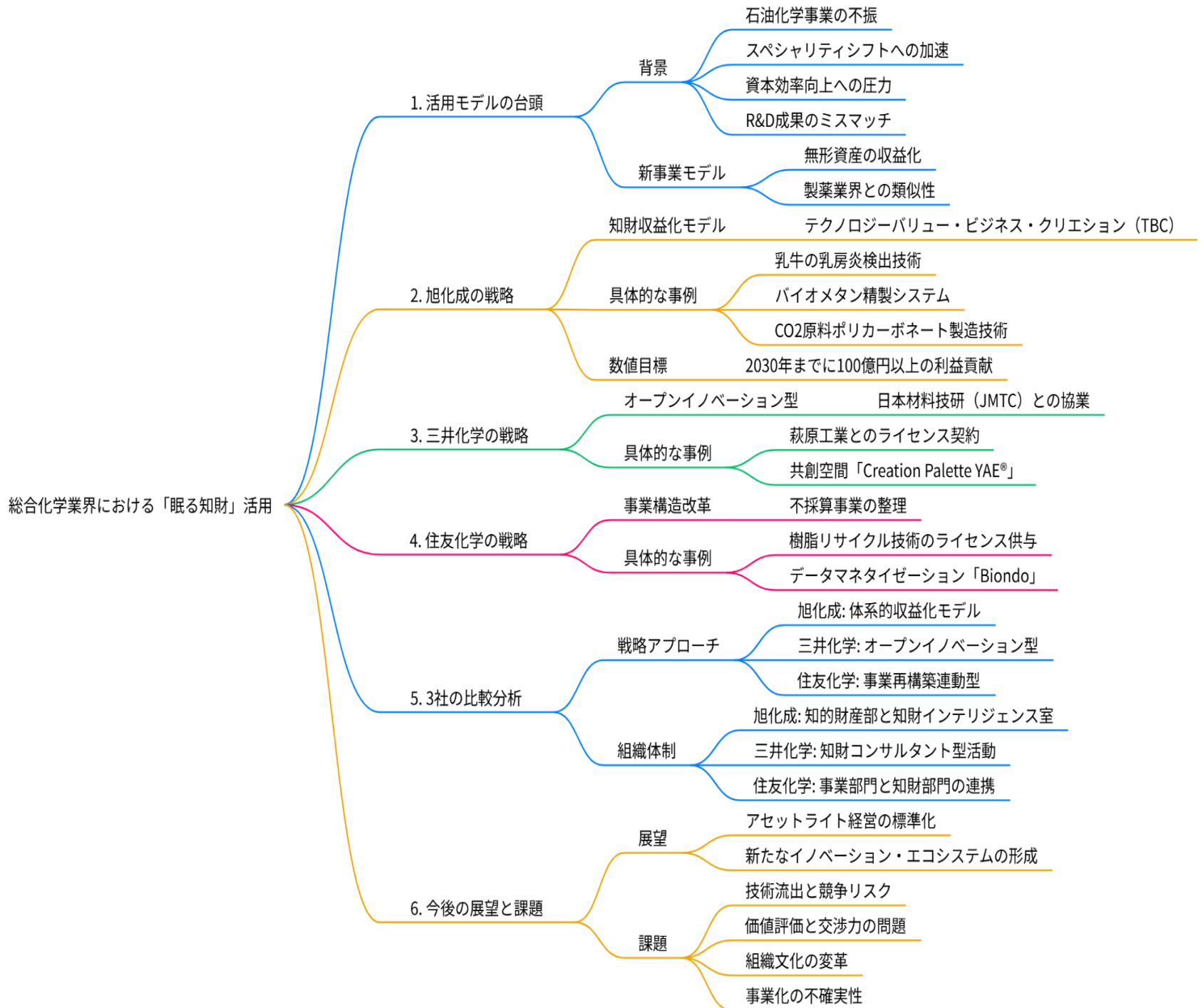


「眠る知財」の活用 旭化成、三井化学、住友化学

Felo AI



Overview

日本の総合化学業界は、石油化学事業の市況悪化や資本効率向上への国際的な圧力といった構造的課題に直面し、事業ポートフォリオの抜本的な変革を迫られています [8 191](#)。この大きな潮流の中で、研究開発（R&D）の過程で生み出されながらも、事業戦略の転換などにより商用化に至らなかった「眠る知財（休眠特許・未活用技術）」を新たな収益源として活用するビジネスモデルが急速に台頭しています [1 29 30](#)。

この新事業モデルは、自社で抱える無形資産をライセンス供与、売却、あるいは共同事業化を通じて収益に変えるもので、巨額の設備投資を伴わずにキャッシュを創出する「アセットライト」な経営戦略です [1 29](#)。創出した資金を成長分野へ再投資することで、資本効率の向上とイノベーションの加速を両立させることを目的としており、開発初期段階の技術をライセンスアウトする製薬業界のビジネスモデルと多くの類似点を持ちます [1 180](#)。

この動きを牽引するのが、旭化成、三井化学、住友化学の大手 3 社です。

- **旭化成**は「テクノロジーバリュー・ビジネス・クリエーション（TBC）」という体系的なプログラムを構築し、先行しています [1](#)。特許のみならずノウハウやデータも含む広範な無形資産を対象とし、2030 年頃までに 100 億円以上の累積利益貢献という明確な数値目標を掲げています [1 54](#)。
- **三井化学**は、スタートアップの日本材料技研（JMTC）との包括的協業を軸に、オープンイノベーションを通じて未活用知財の社会実装を加速させる「共創モデル」を推進しています [9 92](#)。
- **住友化学**は、「創業以来の危機」と位置づける事業構造改革の一環として知財活用を戦略的に位置づけています [17 136](#)。特に、市況変動リスクの大きい石油化学事業をライセンス供与へ転換する手段として活用しており、事業ポートフォリオの最適化と強く連動している点が特徴です [18 117](#)。

各社のアプローチに違いは見られるものの、「無形資産の価値最大化」と「資本効率の向上」という共通の目標に向け、従来の自前主義から脱却し、知財を攻めの経営資源として活用する姿勢は共通しています。本レポートでは、この新しい潮流の背景、各社の具体的な戦略、そして今後の展望と課題について、詳細に分析します。

詳細レポート

1. 総合化学業界における「眠る知財」活用モデルの台頭

背景：なぜ今、「眠る知財」なのか

日本の総合化学メーカーは長年、大規模な設備投資を伴う「規模の経済」を前提としたビジネスモデルで成長してきました [19 191](#)。しかし、近年、このモデルは複数の深刻な課題に直面しています。

- **石油化学事業の不振**: 中国をはじめとするアジア諸国の自給率向上や新規プラントの稼働により、汎用化学品の市

況は構造的に悪化しています [8](#)。これにより、かつて収益の柱であった石油化学事業は、多くの企業で収益性が低下、あるいは赤字事業となっています [8 17](#)。

- **スペシャリティシフトへの加速:** 各社は、高付加価値なスペシャリティケミカル分野への事業転換（スペシャリティシフト）を急いでいます [8](#)。しかし、新事業の創出・育成には多大な時間と研究開発費を要します。
- **資本効率向上への圧力:** グローバルな投資家は、PBR（株価純資産倍率）や ROE（自己資本利益率）といった資本効率を重視する傾向を強めています [12](#)。資産規模の大きい総合化学メーカーにとって、遊休資産や低収益資産を抱え続けることは、企業価値を毀損する要因と見なされます [191](#)。
- **R&D 成果のミスマッチ:** 幅広い事業領域で多様な研究開発を行う総合化学メーカーでは、事業ポートフォリオの見直しや経営方針の転換により、優れた技術でありながら自社の戦略に合致しなくなった「眠る知財」が必然的に発生します [1 29](#)。これらを死蔵させることは、投下した R&D コストの逸失機会となります。

これらの背景から、自社で事業化しない「眠る知財」を外部に提供して収益化し、得られたキャッシュを成長分野に再投資するという、アセットライトで資本効率の高いビジネスモデルが、必然的な戦略として浮上してきたのです [29 45](#)。

新事業モデルの概要と製薬業界との類似性

この新しいビジネスモデルは、自社で開発したものの事業化に至らなかった特許、ノウハウ、データ、アルゴリズムといった無形資産を、他社へのライセンス供与、ロイヤリティ契約、あるいは売却によって収益化するものです [1 10 29](#)。

この戦略は、製薬業界のビジネスモデルと酷似しています [1 29](#)。製薬業界では、新薬創出の成功確率の低下や莫大な研究開発費を背景に、開発パイプラインの早い段階で有望な候補物質や技術を他社にライセンスアウトし、契約一時金や開発の進捗に応じたマイルストーン収入、上市後のロイヤリティを得るというモデルが定着しています [180](#)。これにより、開発リスクを分散・低減しつつ、研究開発の成果を最大化し、次の研究投資に充てる資金循環サイクルを構築しています [1](#)。総合化学各社は、この成功モデルを自社の状況に合わせて応用し始めているのです [1 29](#)。

2. 旭化成：先行する体系的知財収益化モデル「TBC」

旭化成は、日本の総合化学メーカーの中で最も早くから未活用知財の収益化に体系的に取り組み、この分野の先行者と位置づけられています [1 29](#)。

戦略と組織：「価値最大化サイクル」の実現

旭化成は、事業戦略、研究開発戦略、知的財産戦略の「三位一体」での推進を基本方針として掲げています [4 52](#)。知財活動を単なる権利保護（守り）と捉えず、事業収益に直接貢献する「攻め」の活動と位置づけているのが特徴です [4](#)。その推進体制として、従来の「知的財産部」に加え、2022 年に「知財インテリジェンス室」を新設しました [16](#)。この組織は、IP ランドスケープ（特許情報解析を経営戦略に活用する手法）を駆使して、経営レベルでの意思決定や新規事

業創出に資する戦略提案を行っており、知財情報を経営の中枢に組み込む役割を担っています [16 63 70](#)。この両組織が連携し、知財の「価値最大化サイクル」を回すことで、無形資産の価値を最大化することを目指しています [2 16](#)。

「テクノロジーバリュー・ビジネス・クリエーション (TBC)」

この戦略を具現化するのが、「テクノロジーバリュー・ビジネス・クリエーション (TBC)」と名付けられたビジネスモデルです [1 56](#)。

- **広範な対象:** TBC は、特許権のライセンスにとどまらず、製造ノウハウ、実験データ、アルゴリズムといった、権利化されていない無形資産も収益化の対象としています [10 56 61](#)。
- **アセットライト型事業:** パートナー企業が製品化・事業化することを前提としており、旭化成自身は大規模な設備投資を必要としません [10 53](#)。これにより、リスクを抑えつつ早期の収益化を図ります。
- **製薬事業ノウハウの活用:** 旭化成はグループ内に医薬品事業（旭化成ファーマ）を擁しており、そこで培われたライセンス契約やアライアンス交渉のノウハウを TBC に活用している点が大きな強みです [1 6](#)。

具体的な TBC の事例

旭化成は TBC を通じて、すでに複数の成果を上げています。

- **乳牛の乳房炎原因菌検出技術:** 2025 年夏、乳牛の乳房炎を引き起こす細菌を迅速に検出する技術について、エア・ブラウン社と日本およびアジア・中東地域を対象とするライセンス契約を締結しました [1 29](#)。これにより、旭化成は契約一時金に加え、事業化後の販売額に応じたロイヤリティ収入を得る権利を獲得しました [1](#)。
- **バイオメタン精製システム:** 岡山県倉敷市の下水処理場で実証中の、バイオガスから CO2 を効率的に分離し高純度メタンを製造するシステムも TBC の対象です [1 29](#)。実証試験で得られたデータを基に、国内外の幅広い企業とライセンス交渉を進めています [1](#)。
- **CO2 原料ポリカーボネート製造技術:** 環境負荷の低いプロセスとして評価が高い、CO2 を原料とするポリカーボネート (PC) やリチウムイオン電池用電解液原料の製造技術を、世界中の企業にライセンス供与しています [73 66](#)。
- **リチウムイオンキャパシタ (LiC) 技術:** 旭化成が保有する、LiC の容量を 1.3 倍に向上させる技術の特許および関連ノウハウも、TBC の対象アセットとしてパートナーを探索しています [65](#)。

数値目標

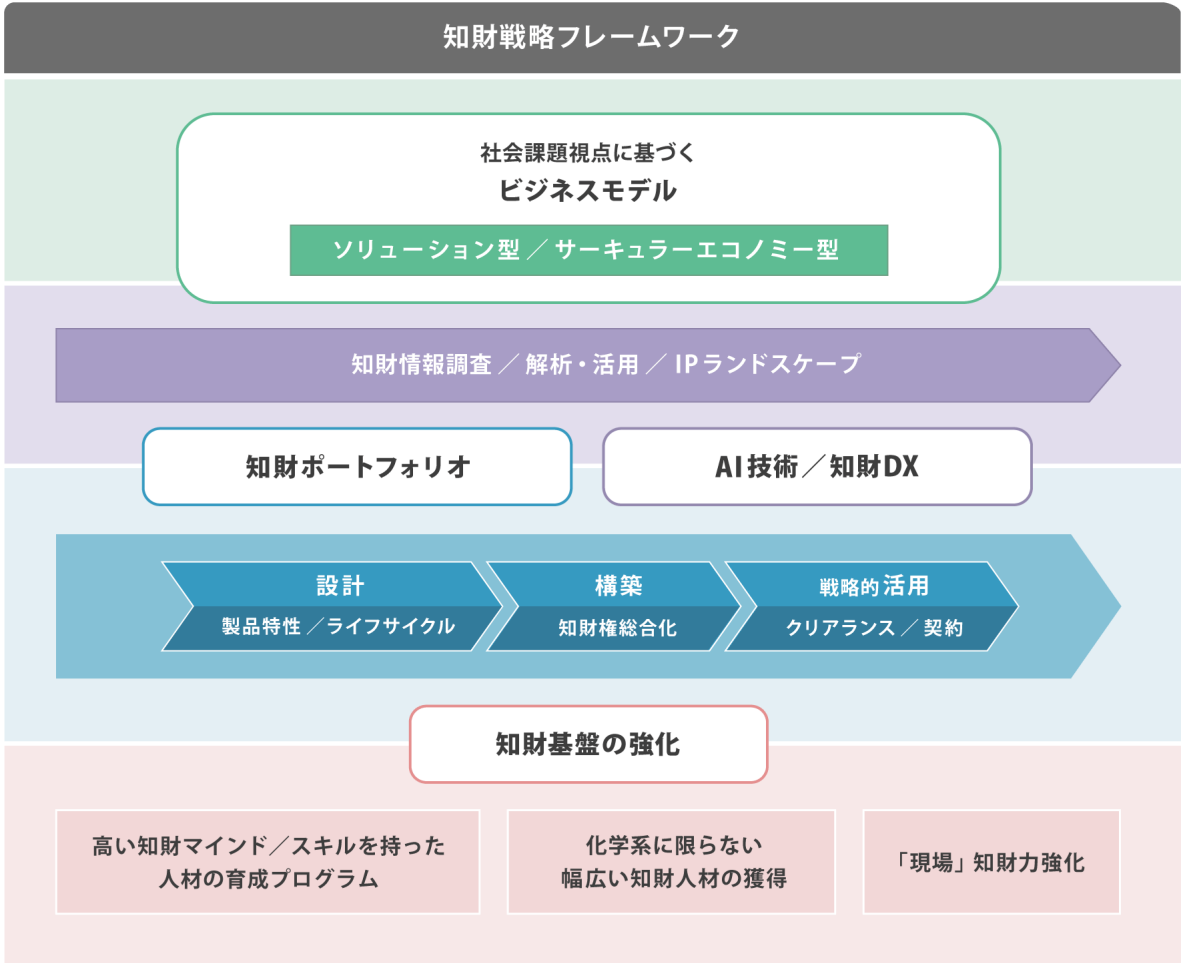
旭化成は、この TBC を含むライセンス活用ビジネスによって、**2030 年頃までの累積利益貢献で 100 億円以上**という具体的な数値目標を掲げており、単なる実験的な取り組みではなく、事業の柱の一つとして本格的に育成していく強い意志を示しています [1 29 54](#)。

3. 三井化学：スタートアップ連携によるオープンイノベーション型活用

三井化学は、自社単独で完結するのではなく、外部の力、特にスタートアップとの連携を積極的に活用して「眠る知財」の社会実装を目指す、「オープンイノベーション型」のアプローチを採っています [9 24](#)。

戦略と組織：知財コンサルタントと IP ランドスケープ

三井化学は、知的財産を特許や商標だけでなく、「事業に資する無形資産」として広く捉え、その戦略的活用を重視しています [15 77](#)。



その実現のため、知的財産部が事業部門や研究開発部門に対して能動的に関与する「**知財コンサルタント型活動**」を強化しています [15](#)。IP ランドスケープを活動の中心に据え、社内外の知財・ビジネス情報を融合的に分析し、将来の事業機会を探ることで、事業戦略と知財戦略を緊密に連携させています [15](#)。また、生成 AI チャットを導入して特許調査業務を

80%削減するなど、知財 DX にも積極的に取り組んでいます [85](#)。

日本材料技研（JMTC）との包括的協業

三井化学の戦略を象徴するのが、素材系スタートアップである**日本材料技研（JMTC）**との連携です [9 34 38](#)。JMTC は、大学や大企業に眠る有望な技術を発掘し、事業化することに特化した企業です [41](#)。

- **包括的協業:** 2025 年 9 月、両社は三井化学が保有する無形資産の活用に関する包括的協業の覚書を締結しました [9 83 92](#)。これにより、三井化学の事業戦略に合わなくなった未活用特許を JMTC が導入し、新たな市場での社会実装を加速させる体制が構築されました [9](#)。
- **これまでの実績:** この協業は、2017 年の水溶性ポリウレタンに関する特許実施許諾契約に始まり、その後もビフェニル骨格含有エポキシ化合物の製造方法 [84 99](#) や、アシルヒドラゾン結合を有する樹脂 [89](#) など、複数の技術ライセンス契約が結ばれており、継続的なパートナーシップが築かれています。

このモデルは、三井化学にとっては自社のリソースを大きく割くことなく技術の新たな可能性を探ることができ、JMTC にとっては大企業が開発した質の高い技術シーズを得られるという、Win-Win の関係に基づいています。

その他のオープンイノベーション事例

JMTC との連携以外にも、三井化学は多様な形でオープンイノベーションを推進しています。

- **萩原工業とのライセンス契約:** 従来困難であった、品質の不均一なリサイクルプラスチックの粘度を均一化する革新的な技術を開発し、その技術を萩原工業にライセンス供与しました [81 90](#)。萩原工業がこの技術を用いた装置の製造・販売を担うことで、技術の社会実装を加速させています [96](#)。
- **共創空間「Creation Palette YAE®」:** 2024 年 10 月、東京・八重洲に社外パートナーとの共創を促進するための拠点を開設しました [94 101](#)。ここを入口として、新たな事業やソリューションを創出することを目指しています。
- **積極的な情報発信:** 特許庁の YouTube チャンネルとコラボレーションし、自社のオープン・ラボラトリー活動「MOLp」を紹介するなど、外部に向けて積極的に技術や連携の可能性を発信しています [91 102](#)。

三井化学は、これらの取り組みを通じて創出されたキャッシュを次の成長分野に再投資することで、資本効率の向上を図る方針です [29](#)。

4. 住友化学：事業構造改革と連動した知財ポートフォリオ最適化

住友化学における「眠る知財」の活用は、同社が直面する「創業以来の危機」を乗り越えるための事業構造改革と密接に結びついています [17 136](#)。

背景：事業ポートフォリオの抜本的改革

住友化学は、主力医薬品「ラツード」の特許切れによる収益急減や、石油化学事業の深刻な市況低迷により、2024 年 3 月期に巨額の最終赤字を計上しました [109 130](#)。これを受け、2025 年度から始まる新中期経営計画では、不採算事業の整理・縮小と、成長が見込める農薬や電子材料といったスペシャリティ分野への「**選択と集中**」を徹底する方針を打ち出しています [17](#)。

	2024年度 予想	2027年度 計画	増減
アグロ&ライフソリューション	530	800	270
ICT&モビリティソリューション	650	800	150
アドバンストメディカルソリューション	30	100	70
エッセンシャル&グリーンマテリアルズ	-640	250	890
住友ファーマ	240	50	-380
本社・その他 等	190		
合計	1,000	2,000	1,000
(事業売却益除き)	400	2,000	1,600

この文脈において、知財戦略は、事業ポートフォリオの入れ替えを円滑に進め、新たな収益構造を構築するための重要なツールとして位置づけられています [105 129](#)。

石油化学事業のビジネスモデル転換

特に象徴的なのが、石油化学事業における戦略転換です。従来の大規模な自社生産モデルは、設備投資の負担が重く、市況変動リスクに脆弱でした [18](#)。そこで、水戸信彰社長は「**自社生産からライセンス展開による事業モデルに変えていく**」と明言し、アセットライト化への強い意志を示しています [18 117 164](#)。

- **樹脂リサイクル技術のライセンス供与:** 住友化学が開発した、廃プラスチックを分子レベルまで分解して化学原料に戻すケミカルリサイクル技術を、米国のエンジニアリング企業ルーマス・テクノロジー社にライセンス供与しました [138](#)。これにより、自社で大規模プラントを建設するリスクを負うことなく、技術を世界に普及させ、ライセンス収入を得ることが可能になります。
- **カプロラクタム製造技術の知財譲渡:** 独自開発した気相法ベックマン転移によるカプロラクタム製造技術に関する知的財産権を、化学品商社のハイケムに譲渡しました [13 116](#)。ハイケムが中国をはじめとする世界市場でこの技

術のライセンスを展開し、住友化学は資産売却によるキャッシュを得ます [160](#)。

知財管理の高度化と新たな収益化モデル

住友化学は、既存事業の整理だけでなく、新たな価値創出にも知財を活用しています。

- **特許維持費の可視化:** 各事業の業績データと、その事業を保護するために保有している特許の維持費用を紐づけて分析する取り組みを強化しています [5](#) [110](#) [131](#)。これにより、費用対効果の低い特許を整理し、知財ポートフォリオ全体の収益性を高めることを目指します [154](#)。
- **データマネタイゼーション「Biondo」:** 2024 年 7 月、食品残渣や未利用の農産物といった天然素材の成分を分析・データベース化し、素材を売りたい生産者と、新たな機能性を求める買い手企業をマッチングさせるプラットフォーム「**Biondo**」を開始しました [111](#) [118](#) [125](#)。これは、住友化学の分析技術という無形資産を活用した、全く新しいデータマネタイゼーション事業です [147](#)。
- **ブランドと技術の融合:** リサイクルプラスチックの統一ブランド「**Meguri®**」 [113](#) [120](#) や、容器包装の単一素材化を可能にする高剛性ポリエチレン「**スミクル®**」 [107](#) [128](#)などを展開。これらは単なる製品ではなく、環境価値や循環型社会への貢献というストーリーを付与したブランドであり、技術とブランドを融合させて事業価値の最大化を図る戦略です [7](#)。

今後、住友化学は R&D テーマの段階から、自社での事業化だけでなく、外部との連携によるライセンス収益化も視野に入れた戦略を構想しており [29](#)、知財活用はさらに深化していく見込みです。

5. 大手 3 社の「眠る知財」活用戦略の比較分析

旭化成、三井化学、住友化学は、いずれも「眠る知財」の活用に取り組んでいますが、そのアプローチ、背景、重点領域には明確な違いが見られます。

項目	旭化成	三井化学	住友化学
戦略アプローチ	体系的収益化モデル「TBC」として確立し、アセットライト型ビジネスを積極的に推進。	オープンイノベーション型スタートアップ（JMTC）との連携を軸に、共創による社会実装を重視。	事業再構築連動型不採算事業（特に石化）の整理・転換手段として活用。成長事業への資源再配分が主目的。
対象とする知財	特許、ノウハウ、デ	主に未活用特許 9 。	製造プロセス技術、

項目	旭化成	三井化学	住友化学
	ータ、アルゴリズムなど広範な無形資産 56 。		リサイクル技術、データプラットフォームなど 13 118 138 。
組織体制	知的財産部＋知財インテリジェンス室の連携体制 16 。製薬事業のノウハウ活用 1 。	知財部がコンサルタント型活動を強化。IP ランドスケープを駆使 15 。	事業部門、研究部門、知財部門が連携 105 。経営トップがライセンス転換を主導 117 。
代表的な事例	・乳房炎検出技術のライセンス 1 ・バイオメタン精製システムのライセンス交渉 1 ・CO2 原料 PC のライセンス 73	・日本材料技研との包括協業 9 ・萩原工業への粘度均一化技術ライセンス 81	・カプロラクタム製造技術の譲渡 13 ・樹脂リサイクル技術のライセンス 138 ・天然素材 DB「Biondo」 118
特徴・キーワード	TBC、アセットライト、先行者、製薬モデル応用、累積利益 100 億円目標 1 29	JMTC、共創、社会実装、IP ランドスケープ、知財 DX 9 15	選択と集中、構造改革、石化事業転換、費用対効果分析、データマネタイゼーション 17 117

分析

- 旭化成は、先行者としての強みを活かし、知財収益化を「TBC」という事業として体系化・ブランド化している点が際立っています。グループ内の製薬事業で培ったライセンスビジネスのノウハウを化学分野に横展開できることは、他社にない独自の強みです[1](#)。明確な収益目標を掲げ、積極的に案件創出に取り組む「攻め」の姿勢が鮮明です。
- 三井化学の戦略は、「共創」がキーワードです。自社のリソースだけで事業化を目指すのではなく、JMTC のような外部の専門性を持つパートナーを戦略的に活用することで、リスクを抑えながら多様な技術の可能性を追求して

います [9](#)。これは、自前主義からの脱却とオープンイノベーションを体現するモデルと言えます。

- **住友化学の取り組みは、事業構造改革という守りの側面と強く連動しています。**特に、経営の重荷となっていた石油化学事業を、知財ライセンスという形でアセットライトな収益源に変えようとする動きは、生き残りをかけた戦略的な一手です [117](#)。同時に、「Biondo」のようなデータ事業を立ち上げるなど、知財を新たな成長の種とする「攻め」の側面も持ち合わせており、ポートフォリオの最適化に向けたダイナミックな動きが特徴です。

6. 今後の展望と課題

総合化学業界における「眠る知財」の活用は、一過性のブームではなく、業界の構造変革を促す大きな潮流となる可能性を秘めています。

展望

- **アセットライト経営の標準化:** 今後、総合化学メーカーにとって、事業ポートフォリオの見直しに伴う非注力技術のライセンスアウトや売却は、経営の選択肢としてさらに一般化していくでしょう [8 183](#)。これにより、業界全体の資本効率が向上し、より機動的な経営が可能になります。
- **新たなイノベーション・エコシステムの形成:** 大企業が保有する質の高い技術シーズが、スタートアップや異業種企業に提供されることで、これまで生まれなかったような新しい製品やサービスが創出される可能性があります [36 115](#)。これは、日本の製造業全体の活性化にも繋がり得ます。
- **収益源の多様化:** 製品販売という従来の収益モデルに加え、ライセンス収入が安定的なキャッシュフローとして確立されれば、企業の収益構造はより強靱になります。クアルコムのように、ライセンス事業が極めて高い利益率を生み出す例もあり、大きなポテンシャルを秘めています [27 170](#)。
- **DXによる高度化:** AIやIP ランドスケープの活用が進むことで、「眠る知財」の発掘、価値評価、最適なパートナーのマッチングがより高度化・効率化され、知財活用の成功確率が高まることが期待されます [15 70](#)。

課題

一方で、この新しいビジネスモデルを成功させるためには、いくつかの重要な課題を克服する必要があります。

- **技術流出と競争リスク:** 技術を外部に提供することは、将来の競合相手を育てるリスクを内包します [176](#)。特に、技術吸収力の高い海外企業へのライセンス供与は、自社の競争優位性を損なう可能性があり、ライセンス先の慎重な選定と、技術のブラックボックス化などを含めた精緻な契約戦略が不可欠です。
- **価値評価と交渉力の問題:** 市場実績のない未活用技術の経済的価値を客観的に算定することは極めて困難です。不当に安く買い叩かれたり、逆に高すぎる価格設定で買い手がつかなくなったりするリスクがあります。技術、ビジネス、法務に精通した高度な交渉力を持つ専門人材が求められます [124 184](#)。

- **組織文化の変革:** 長年にわたる自前主義や、知財を「守るべきもの」と考える保守的な文化が、オープンな連携の障壁となる場合があります [36](#)。経営トップの強いリーダーシップのもと、知財部門と事業部門が一体となって外部連携を推進する組織文化への変革が不可欠です。
- **事業化の不確実性:** 技術的に優れていることが、必ずしも事業的な成功を意味するわけではありません [179](#)。ライセンスアウトした技術が最終的に市場で受け入れられず、期待したロイヤリティ収入が得られないケースも想定されます。技術シーズと市場ニーズを的確に結びつける「目利き力」が、成功の鍵を握ります。

これらの課題を乗り越え、各社が自社の強みや状況に合わせた知財活用戦略を構築・実行していくことが、持続的な成長を実現する上で不可欠となるでしょう。

1. [「眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却](#)
2. [三井化学の知財戦略と分析—サステナビリティ時代の基盤 ...](#)
3. [三井化学—日本材料技研、「眠る知財」活用へ協業](#)
4. [知的財産戦略 | 研究・開発 | 旭化成株式会社](#)
5. [住友化学、特許維持費を可視化 事業や商標テコ入れ](#)
6. [旭化成の経営戦略の現在位置と買収候補先 16 選 — note](#)
7. [住友化学の知財戦略—変革を支える知的財産マネジメントの全貌](#)
8. [【企業分析】 2024 年の 6 大化学メーカーはどうだったのか ...](#)
9. [日本材料技研、三井化学との無形資産活用の包括的取り組みを ...](#)
10. [旭化成、自社技術で他社事業を共同開発 知財利用料得る](#)
11. [「住友化学」に関する、575 件の知財ニュース](#)
12. [独コンサル大手、国内化学 P B R 改善へ処方箋 — 化学工業日報](#)
13. [カプロラクタム製造技術を化学品商社のハイケムに譲渡](#)
14. [三菱ケミカル・旭化成・住友化学...化学大手 3 社長が語る ...](#)
15. [知的財産 | 研究・開発 | 三井化学株式会社 — Mitsui Chemicals](#)
16. [旭化成の知財戦略 — 公開情報に基づく分析 — TechnoProducer](#)
17. [住友化学の新中計を解説【2025~2027 年度】 — note](#)
18. [住友化学の水戸信彰社長「石油化学、自社生産からライセンス ...](#)
19. [世界で戦う化学メーカーを事業規模の観点から紹介！](#)
20. [「三井化学」に関する、583 件の知財ニュース](#)
21. [知財活用、経営者が連携 旭化成やキヤノンが推進組織](#)
22. [「眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却 | 化学 ...](#)
23. [化学メーカー大手 4 社（三菱ケミカル・住友化学・信越化学工業 ...](#)
24. [化学工業日報社 — X](#)

25. [とるえん@化学メーカー分析 on X: "元記事の主旨とはズレるけど](#)
26. [「住友化学 vs 三菱ケミカル」日本の化学 2 大巨頭の勝敗は ...](#)
27. [クアルコム知財戦略：特許ライセンスによる市場創造と収益 ...](#)
28. [日本の化学産業が勝つための M&A の展望 — 現代経営技術研究所](#)
29. [総合化学、「眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却：化学工業日報 電子版](#)
30. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却](#)
31. [PwC の視点：日本の機能性化学は素材立国の切り札となりうるか](#)
32. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却 | 化学 ...](#)
33. [日本の化学産業の今後の展望：世界をリードするスペシャリティ](#)
34. [とるえん@化学メーカー分析 \(@cbs_chemical\) / X](#)
35. [Yoshimasa \(祥公\) Takagi \(高木\) さんの投稿 — 総合化学](#)
36. [でも儲からない。その原因の一旦は「知財戦略」にある ...](#)
37. [日本の化学産業が勝つための M&A の展望 — 現代経営技術研究所](#)
38. [とるえん@化学メーカー分析 on X: "スタートアップやけど](#)
39. [三井化学—日本材料技研、「眠る知財」活用へ協業](#)
40. [三菱ケミカル株式会社 特許 特許情報・特許分析レポート](#)
41. [化学業界の最新 M&A 動向・化学メーカーの M&A 事例 15 選](#)
42. [経産省、化学業界に価格転嫁・取引適正化を要請](#)
43. [住友化学の知財戦略—変革を支える知的財産マネジメントの全貌](#)
44. [30 年後の化学の夢ロードマップ — 日本化学会](#)
45. [化学工業日報社 \(@chemicaldailyad\) on X](#)
46. [技術系分野で輝く先輩たち（特許庁） — 人事院](#)
47. [特許で企業価値アップ？M&A で注目される特許の力](#)
48. [三井化学」に関する、583 件の知財ニュース](#)
49. [住友化学」に関する、575 件の知財ニュース](#)
50. [デジタル時代におけるものづくり企業の 知財戦略に関する一 ...](#)
51. [2025 年 10 月 13 日 | 日刊工業新聞 電子版](#)
52. [知的財産戦略 | 研究・開発 | 旭化成株式会社](#)
53. [旭化成が挑む技術活用術、自社製品化にこだわらない研究開発 ...](#)
54. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却](#)
55. [知的財産報告書 | 研究・開発 | 旭化成株式会社](#)
56. [オープンイノベーション | 研究・開発 | 旭化成株式会社](#)

57. [旭化成、自社技術で他社事業を共同開発 知財利用料得る](#)
58. [旭化成ホームズ、アールシーコア株 14%取得 - 化学工業日報](#)
59. [Executive Insight：旭化成における企業経営と知的財産戦略](#)
60. [旭化成の知財戦略 - 公開情報に基づく分析 - TechnoProducer](#)
61. [化学の無形資産戦略、技術やノウハウのマネタイズ手法とは ...](#)
62. [kz on X: "休眠特許活用 旭化成は総合でネタが多いからできる ...](#)
63. [総合化学メーカーの知的財産部門における活用 - SPEEDA](#)
64. [【旭化成 × AUBA】旭化成と未来の可能性を共に考える ...](#)
65. [旭化成の無形資産戦略を徹底解説～ソリューション ...](#)
66. [とるえん@化学メーカー分析 on X: "元記事の主旨とはズレるけど](#)
67. [対象アセットの紹介 | オープンイノベーション | 研究・開発](#)
68. [2024 年「無形資産戦略説明会」を開催 | Asahi Kasei DX - note](#)
69. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却 | 化学 ...](#)
70. [守りから攻めへ。知的財産が拓く、オープンイノベーションの ...](#)
71. [Yoshimasa \(祥公\) Takagi \(高木\) さんの投稿 - 総合化学](#)
72. [知的財産権の有効活用 - 旭化成](#)
73. [旭化成株式会社 技術ライセンス事業 - 環境に優しいプロセス ...](#)
74. [旭化成、オープンイノベ加速 無形資産活用へ発信強化](#)
75. [旭化成、自社技術で他社事業を共同開発 知財利用料得る](#)
76. [特許情報を活用したスタートアップのオープンイノベーション ...](#)
77. [知的財産 | 研究・開発 | 三井化学株式会社 - Mitsui Chemicals](#)
78. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却](#)
79. [三井化学と水溶性ポリウレタンに関する特許実施許諾契約を締結](#)
80. [三井化学株式会社の特許統計データ - IP Force](#)
81. [三井化学と萩原工業、不均一ナリサイクルプラスチックの粘度 ...](#)
82. [オープンイノベーション情報 | 研究・開発 | 三井化学株式会社](#)
83. [日本材料技研、三井化学との無形資産活用の包括的取り組みを ...](#)
84. [ビフェニル骨格含有エポキシ化合物製造方法でライセンス契約 ...](#)
85. [三井化学が特許探索に生成 AI チャット、業務時間を 80%削減へ](#)
86. [ライセンス | 製品・素材一覧 | 事業・製品 | 三井化学株式会社](#)
87. [三井化学の知財戦略と分析 - サステナビリティ時代の基盤 ...](#)
88. [三井化学・三瓶雅夫常務「DX で事業ポートフォリオを変革」](#)

89. [日本材料技研、アシルヒドラゾン結合を有する樹脂に関する ...](#)
90. [三井化学らがライセンス契約締結 リサイクルプラ粘度均一化 ...](#)
91. [特許庁×三井化学コラボ動画を公開！](#)
92. [日本材料技研、三井化学との無形資産活用の包括的取り組みを ...](#)
93. [PERSON：私の化学式 T.Y.さん | 採用 | 三井化学株式会社](#)
94. [三井化学、共創空間「Creation Palette YAE®」オープン](#)
95. [化学工業日報社 - X](#)
96. [三井化学、萩原工業とライセンス契約を締結 - ゴム報知新聞](#)
97. [三井化学-日本材料技研、「眠る知財」活用へ協業](#)
98. [アシルヒドラゾン結合を有する樹脂に関する三井化学との ...](#)
99. [日本材料技研、ビフェニル骨格含有エポキシ化合物の製造方法 ...](#)
100. [スタートアップエコシステムと知財 - IP BASE](#)
101. [三井化学、共創空間「Creation Palette YAE™」を開設](#)
102. [【特許庁】JPO ちゅーぶ『知財を探して企業へ GO！三井化学編 ...](#)
103. [住友化学の知財戦略-変革を支える知的財産マネジメントの全貌](#)
104. [成分分析を介して天然素材の新たな価値が見つかる - 住友化学](#)
105. [住友化学による、IP ランドスケープを活用した経営戦略 事業 ...](#)
106. [プラスチック資源循環事業情報サイト - 住友化学](#)
107. [新しいポリエチレン製品「スミクル®」を開発 ～プラスチック ...](#)
108. [クラリベイト「Top 100 グローバル・イノベーター 2025」を受賞 ...](#)
109. [住友化学の新中計を解説【2025~2027 年度】](#)
110. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却](#)
111. [住友化学初のデータマネタイゼーションプロジェクト「DX ...](#)
112. [About us | 仕事内容 - 住友化学採用サイト](#)
113. [リサイクルプラスチックブランド「Meguri™」を立ち上げ](#)
114. [水平リサイクルの実現に貢献する容器包装向けポリエチレン ...](#)
115. [知的財産を活用するための「オープンイノベーション」って？](#)
116. [カプロラクタム製造技術を化学品商社のハイケムに譲渡](#)
117. [住友化学の水戸信彰社長「石油化学、自社生産からライセンス ...](#)
118. [住友化学、「DX 戦略 3.0」の第 1 弾となる天然素材の購買 ...](#)
119. [【大阪】知財スタッフ - 住友化学株式会社 - タイズ](#)
120. [循環型社会の実現を目指すプラスチックの新ブランド「Meguri ...](#)

121. [住友化学×地球環境との共生 | 現在の取り組み](#)
122. [ソフトバンクと住友化学にみる、中長期の「ヒト、モノ](#)
123. [住友化学が再出発、“苦しむ名門”は復活できるのか ラービグ ...](#)
124. [知財戦略プロデューサー — iAca 特設サイト](#)
125. [住友化学がプラットフォーム 天然素材の売買を仲介](#)
126. [住友化学の競争優位&共創・協調に向けた知的財産活動](#)
127. [Meguri | ひらめきのスミカ — 住友化学](#)
128. [容器包装向けの高剛性ポリエチレン（PE）「スミクル」を開発](#)
129. [住友化学株式会社と意見交換を行いました](#)
130. [住友化学・岩田社長「住友ファーマの持続的成長に貢献できる ...](#)
131. [住友化学、特許維持費を可視化 事業や商標テコ入れ](#)
132. [長岡市と住友化学、地域素材の活用でタッグ〜地域資源循環の ...](#)
133. [【総合化学メーカー】知的財産（知財）・特許の転職 ... — doda](#)
134. [SUMIKA ACRYL SHEET™ Meguri® | 製品情報](#)
135. [世界最大規模のプラスチック・ゴム展「Chinaplas2024」出展 ...](#)
136. [「創業以来の危機」住友化学が迫られる 2 つの“売却シナリオ”](#)
137. [住友化学株式会社のイノベーションを アナクア社の知財管理 ...](#)
138. [住友化学、樹脂のリサイクル技術を供与 米ルーマス社に](#)
139. [プラスチックは「循環」させる時代へ ジュエリーや自動車 ...](#)
140. [住友化学、プラスチック製品の水平リサイクル実現に向け ...](#)
141. [未・低利用資源の高付加価値化へ、成分分析とマッチング促進 ...](#)
142. [Honda と住友化学が魅せるサステナブル素材で ...](#)
143. [【住友化学】プラ包装容器を単一樹脂化できる P E 開発インキ ...](#)
144. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却 | 化学 ...](#)
145. [【住友化学株式会社】白崎あゆみの突撃取材 in 人とくるまの ...](#)
146. [Chinaplas 2024 へ「スミクル®」を出展いたします。](#)
147. [住友化学が天然素材の売買支援サービス、成分分析し ...](#)
148. [住友化学、リサイクルプラスチックブランド「Meguri」を立ち ...](#)
149. [取り組み・活動報告 — エコ・ファースト推進協議会](#)
150. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却](#)
151. [三井化学の知財戦略と分析—サステナビリティ時代の基盤 ...](#)
152. [三井化学—日本材料技研、「眠る知財」活用へ協業](#)

153. [旭化成の無形資産戦略を徹底解説～ソリューション ...](#)
154. [住友化学、特許維持費を可視化 事業や商標テコ入れ](#)
155. [住友化学の知財戦略－変革を支える知的財産マネジメントの全貌](#)
156. [【企業分析】 2024年の6大化学メーカーはどうだったのか ...](#)
157. [知的財産 | 研究・開発 | 三井化学株式会社 – Mitsui Chemicals](#)
158. [旭化成の経営戦略の現在位置と買収候補先 16選 – note](#)
159. [他社比較 旭化成と三井化学と住友化学を比較 | Ullet \(ユーレット\)](#)
160. [カプロラクタム製造技術を化学品商社のハイケムに譲渡](#)
161. [三菱ケミカル・旭化成・住友化学...化学大手3社長が語る ...](#)
162. [旭化成、自社技術で他社事業を共同開発 知財利用料得る](#)
163. [大手化学連合が新会社設立 その狙いを解説 – note](#)
164. [住友化学の水戸信彰社長「石油化学、自社生産からライセンス ...](#)
165. [世界で戦う化学メーカーを事業規模の観点から紹介！](#)
166. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却 | 化学 ...](#)
167. [日本の化学産業が勝つための M&A の展望 – 現代経営技術研究所](#)
168. [とるえん@化学メーカー分析 on X: "元記事の主旨とはズレるけど](#)
169. [化学メーカー大手 4 社（三菱ケミカル・住友化学・信越化学工業 ...](#)
170. [クアルコムの知財戦略：特許ライセンスによる市場創造と収益 ...](#)
171. [「住友化学 vs 三菱ケミカル」日本の化学 2 大巨頭の勝敗は ...](#)
172. [休眠特許の活用策：特許を放棄する前に | PatentRevenue](#)
173. [知財戦略とは？ ～考え方と成功企業の事例を簡単に解説](#)
174. [キヤノンの知財戦略：事業を支える知財活動の全貌と今後の展望](#)
175. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却 | 化学 ...](#)
176. [特許収益化によるイメージ悪化？知財とビジネスのバランス](#)
177. [知財戦略は事業成功のカギ！企業が知的財産を活用して競争 ...](#)
178. [AI と知財革命 新時代の戦略的価値創造論 – エネがえる](#)
179. [PwC の視点：日本の機能性化学は素材立国の切り札となりうるか](#)
180. [眠る知財」の新事業モデル 未活用技術ライセンス・売却](#)
181. [知財戦略の実践で事業を成功させるためのポイント](#)
182. [2025 年のアメリカ知的財産政策の展望：トランプ政権 2 期目で ...](#)
183. [日本の化学産業が勝つための M&A の展望 – 現代経営技術研究所](#)
184. [知的財産戦略の重要性 – 東京総合知的財産事務所](#)

- 185. [知的財産戦略の立案とは？経営戦略との関係・知財管理体制の ...](#)
- 186. [令和 7 年度「知財を企業の強みに！「稼ぐ力」向上 ...](#)
- 187. [知財戦略こそが、日本企業の未来を拓く経営の羅針盤](#)
- 188. [知財は、金融と合流せよサービス業、大学にもチャンス](#)
- 189. [知財戦略とは？企業知財部が成功事例もあわせて解説！](#)
- 190. [守りから攻めへ。企業は知的財産権をどう活用すべきか](#)
- 191. [【企業分析】 2 0 2 4 年の 6 大化学メーカーはどうだったのか ...](#)
- 192. [眠る知財を事業化へ導く「共創ナビ ivan \(R\)」－時事通信](#)
- 193. [【実例解説】知的財産権が鍵！ソフトウェア企業の M&A ...](#)
- 194. [富士フイルムの知財戦略：価値創造を支える知的資本の全体像 ...](#)
- 195. [化学メーカーに将来性はない!?化学業界の課題や今後の動向を ...](#)
- 196. [【貴社の特許が、“数十億円以上の事業資産”に変わる可能性 ...](#)
- 197. [特許戦略とは？企業価値を高める戦略・事例・AI の活用方法を ...](#)
- 198. [特許出願前に事業戦略まで検討すべき？－ PatentRevenue](#)
- 199. [スタートアップの知財戦略の重要性は？競争力強化と成長の ...](#)
- 200. [知財戦略で切り開くグローバル展開の未来：成功への道筋](#)